



プロフィール 山口県下関市出身。東京大学経済学部在学中に公認会計士二次試験に合格し、卒業後は監査法人に就職。その後証券会社に転職し、投資銀行業務に従事した。いっぽうで自然エネルギーや省エネルギーに強い関心を持ち、余暇に小型太陽光発電システムや太陽熱温水器を自作。趣味が高じて2014年8月、ソーラーライトなどのエコロジー商品を世界に普及させるべく、(株)ツインエコを設立した。【 <http://eco2.tokyo/> 】

東京大学在学中に会計士の資格を取得し、監査法人や証券会社で金融のプロフェッショナルとして手腕を振ってきた早田孝司氏。しかし2014年、それまでのキャリアを全て捨て、ソーラーライトをはじめとしたエコ商品を適正価格で販売する株式会社ツインエコを設立した。何が氏をそこまで動かしたのか——？ 氏の目指す未来とは——？ 同社を訪れ、独立に至った経緯やそこにある思い、夢について詳しくうかがった。

エコ商品の普及を目指し、42歳で独立

宮地 太陽光発電で光るソーラーライトなどのエコロジー商品を販売するツインエコさんにお邪魔しています。何でも、早田社長は以前は公認会計士だったとか？

早田 はい。大学卒業後5年間は監査法人で働き、その後は投資銀行で10年間、M&A や相続対策・資金調達などの業務を行っていました。

宮地 エコ商品とは接点がないお仕事ですよね。どのようにエコ商品と出会ったのでしょうか。

早田 昔からDIYが趣味で、また自然エネルギー・省エネに高い関心を持っていたんです。だからホームセンターに行くと、ソーラーアイテム商材について目を奪われていたんです。

宮地 DIYって、例えばどのようなことを？

早田 自宅にソーラーライトを設置したり、トイレの水やガーデニングの水やりに雨水を利用したりできるように設計しています。

宮地 本格的ですね！ 環境に優しい家を自分でつくるって、すごく素敵！

早田 おっしゃる通り、環境に優しいって素晴らしいことですよね。でも、現在のエコ商品は「エコ」を理由に不当に価格が高いものが目につくんです。つまり家計には優しくない。これでは広く普及するはずがないんです。だから、環境にも家計にも優しい「エコロジー&エコノミー」な商品を自分で販売しようと思ってツインエコを始めたんです。



ソーラーライトで人々の心も照らす



照度&人感センサー付きの常夜灯タイプ

宮地 “エコロジー&エコノミー”——あ、それで社名が「ツインエコ」なんだ。でも、それまでのキャリアを捨てることにためらいはありませんでした？

早田 私は「働くとは、傍(ハタ)を楽(ラク)にすること」という考えが好きです。周囲の人に楽しんでもらうにはまず自分自身が心から楽しめる仕事であることが 必要なのですが、40 歳を越えた時に、金融の仕事を自分はそもそも楽しんでいるのかと自問したら、答えは「NO」だった。結局、できることと楽しいことは 別なんですよ。だったら、自分が本当に好きだと思えることをしようと決意して独立したので、ためらいはなかったです。

宮地 「せっかく会計士になったのにもったい」などと理由をつけて現状維持を図るのではなく、勇気を持って新たな一歩を踏み出されたところに、決意の強さを感じられます。

早田 ソーラーライトは本当に魅力的な商品なので、もっと世の中に普及させたいという気持ちがやはり強かったんです。一番の魅力は、ソーラーライトは太陽光がエネルギー源なので電源がいらないこと。こまめな電池交換も不要ですからどこでも簡単に設置できる手軽さと、省エネにつながるという点が素晴らしいですね。どうぞ、ぜひ実物を手にとってご覧ください。

宮地 これですね…太陽光で発電する照明設備は知っていましたが、こういう手軽なライトもあったんだ。驚きです。

早田 大きさ・形・光の強さや色などバリエーションが豊富なので、設置場所や用途に合わせてお選びいただけますよ。例えばこれは明るさ最優先のタイプ。駐車場をセキュリティライトで照らした写真です。

宮地 きゃ～、すごい！ 明るい！ ソーラーライトと聞いて勝手に「明るさは期待できないだろうな」と思ってたんですが、大間違いですね。イメージがガラリと変わりました。

早田 そうですね、そうですね(笑)。明るさの単位であるルーメンでいうと、700 ルーメンもありますからね。こちらも見てください。灯籠型のガーデンライトです。非常に洗練されているでしょ。



宮地 オシャレだな～。インテリアとしても使えるデザインですよ。こんな商品もあるなんて知りませんでした。

早田 オシャレとか可愛いというのは、ある商品が世間に普及するために欠かせない要素です。実際にこのガーデンライトは人気商品になっています。「ソーラーライトなんてかわるい」とおっしゃる方にこそお届けしたいです。

宮地 威嚇するような光でなく、優しい明かりなのもいいですよ。まさに、一家に 1 台、ツインエコさんのライトがあれば、もっと世の中も人の心も明るくなるんじゃないかな！

ソーラーライトの明かりを世界へ届ける！



人気の灯籠型ガーデンライト。照度センサー内蔵でオンオフ自動



こちらは懐中電灯型。USB バッテリーでスマホも充電できる

宮地 “エコ商品”というだけで売られているものもあるでしょうからね。早田社長のお眼鏡に合わないものはどれぐらいの割合でありますか？

早田 10個のうち8、9個は落とします。品質の悪いものは排除する、そういう厳しさはソーラーライトを普及させるうえで大切だと思っています。

宮地 ツインエコで販売されている商品は、厳しいテストに耐えた信頼できる商品ということですね！ では最後に、今後の目標を教えてください。

早田 ニーズも掴めてきましたので、今後はOEMではなく自社製造にも参入したいです。海外発信にも取り組みたいですね。また、過去の仕事で様々な商品やビジネスモデルに接してきました。せっかくなのでその知見を応用したいです。具体的な戦術は企業秘密ということにさせていただきますけど（笑）。新しい取り組みをすることで、ツインエコの名前を知ってもらって、“エコロジー&エコノミー”な商品をもっと普及させたいです。

まずは、アフリカの子どもたちがソーラーライトの明かりで夜でも本を読めるような世界にしたい。課題は山積みですが、夢の実現のためにこれからも頑張ります！



宮地 今日お話をうかがって、コンセントがなくても光を灯せるソーラーライトって本当に便利だなんて思うようになりました。私の地元は兵庫県の淡路島で、島でも特に畑が多い地域は道に街灯がなくて、怖いんです。そこに街灯タイプのソーラーライトがあれば、すごく安心なんだけどな～。東京でも、計画停電の時に高速道路を走ったら点いてる照明が減らされていて危険を感じましたが、ソーラーライトがあれば問題なかったのって思いますね。

早田 そう、ソーラーライトはいろんなシチュエーションで役立つんですよ。こちらの懐中電灯タイプは持ち運びしやすく、読書灯とか寝室の常夜灯としても使えます。しかも、ほら、スマホや音楽プレイヤーの充電もできますよ。

宮地 うわ、これ助かる！ 災害時は情報が命なのに、充電を気にしながら携帯やスマホを見るのは心細いですからね。いいな～。最近私は防災士の資格を取ったのですが、台風や地震といった災害時にソーラーライト商品は絶対に役立つと思います！ バリエーションを見てるだけでも楽しいな。

早田 世界を探すといろんなメーカーからもっと多様なソーラーライトが発売されています。ただ、残念ながら中には粗悪品も少なからずあるんです。だから私は、自分が長期間実際にテストしたうえでお勧めできる商品だけを扱うようにしています。それが販売店としての責任ですからね。

「仕事を楽しむ」とは…

自分の気持ちより周囲の評価を気にして、惰性で仕事をしている人が多いのではないのでしょうか。自分の気持ちに嘘をつかず働けるようであれば、仕事は楽しめるし、結果も付いてくると思います。

(早田孝司)

:: 会社概要 ::

- 社名 株式会社ツインエコ
- 本社 〒133-0051 東京都江戸川区北小岩 7-7-2
- 事業内容 エコ製品の企画・販売／エコサービス展開
- 設立 平成 26 年 8 月
- 主な取引先 ホームセンター／建築会社／家電販売店／一般ユーザー
—
- ホームページ <http://eco2.tokyo>